

来年4月から国保財政が都道府県単位に移行…

国保税 さらに引き上げ!?



来年4月から国保財政が都道府県単位化されるのに伴い、県が国保税を統一化する方向で調整をすすめているため、日本共産党滋賀県地方議員団が11月28日、「国保税の統一化を撤回し設定にあたっては市町の裁量にゆだねる」と緊急の申し入れを行いました(写真)。県の試算によると甲賀市を含め11市町が負担増となりそ

県の試算によると… 11市町が負担増

病気が進行し4階での生活が困難に…きた…市営住宅1階に転居することができた…

市の条例示して改善



長い間、市営住宅梅ノ木団地(水口町)の4階に住んでいた八里益雄さん(77歳)。筋繊維性ミオパチーという病気になり、毎日に歩くことが困難に…。たまたま1階に空室があるので転居したいと何度も申し入れたものの断られ、困り果てて山岡議員に相談…。

山岡議員に相談してよかった

相談を受けた山岡議員は、すぐに八里さん宅を訪れ実情を確認し、そのうえで市役所担当課に要請しました。最初は同様の返事でしたが、山岡議員が甲賀市営住宅条例第4条(公募の例外)7項に基づき、一階に転居することが適切と訴え認められました。条例には現に入居している人が病気等で生活に支障がでた場合、市長が募集している住宅に入居することが適切と認められた場合、引っ越しできた八里さんは大喜びでした。



市民の切実な要望を53項目にまとめ、新年度予算に盛り込むよう、岩永市長に申し入れました。(11月21日)



仮称・西部学校給食センター建設予定地(水口町山上地先)を視察(11月17日)



タブレットや電子黒板を活用した土山小学校のICT授業を参観(12月7日)新年度から市内各学校にタブレットが導入されます。

一級河川・砂川…改修後「廃川告知」されずそのまま



甲南町深川地先を流れる一級河川・砂川が改修されて35年が経過する

市の責任で「今後側溝設置等総合的に検討」

にもかかわらず、旧河川(写真)は「廃川告知」がされず、そのまま青線として市に引き継がれていることが山岡議員の調べて明らかになり、一般質問で「早急に対策を講じるべき」と求めました。「夏はボウフラが湧き大変」「雨水が流れる程度で河川の役割は果たしていかない」「夜間真っ暗で自転車が通ると怖い」といった声が多く寄せられたため、山岡議員が今回改善を求めたものです。建設部長は「排水路機能が保持されているので埋め戻しはできない。今後側溝を設置する等、総合的に検討する」と回答。「いつまでに」と山岡議員が再質問したことに「甲南駅周辺整備が完了する時期を別途」と回答しました。



4議席実現はなりませんでした。市議選で掲げました公約実現へ全力で頑張ります。選挙後候補者4人揃って街頭宣伝。



山岡議員は1555票を獲得、4選を果たしました。新聞記者の経験を生かして、引き続き粘り強く一歩一歩前進へ。